白谷雲水峡

白谷雲水峡は、屋久島北部に位置し、巨石、空洞のある古木、滝、たくさんの珍しい植物や苔のある自然林です。標高600～1200メートルにある、424ヘクタールの温帯針葉樹の森には、モミ(*Abies firma*)、杉(*Cryptomeria japonica*)、ツガ(*Tsuga sieboldii*)、550種以上もの膨大な数の苔などが生育しています。白谷雲水峡のトレッキングコースでは、島で最も古い杉の木々のそばを通り抜けます。千年以上の(樹齢を持つ)これらの杉はこの場所(訳注：屋久島)でしか見られないので、屋久杉と呼ばれています。ハイキングトレールはまた、苔で覆われた巨石のある川辺、太鼓のような音がする巨岩=太鼓岩などを通り、島の最高峰の絶景も眺めることができます。

この渓谷には、主なコースが3つあります。1時間の短い弥生杉コースは、弥生時代(紀元前300年～西暦300年)にさかのぼる杉にちなんでいます。3時間のもっと長い奉行杉コースでは、数本の素晴らしい屋久杉のそばを通ります。そして、4時間の太鼓岩往復コースでも、たくさんの屋久杉のそばを通って、最後は屋久島中部の絶景でしめくくります。